

# より安心して暮らせる西尾市を目指して

明けましておめでとうございます。皆さまには輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、依然として先行き不透明な世界経済情勢の中、東アジアにおける領土問題が深刻化を増し、日本との関係が急速に冷え込みました。

国内経済は、そのあおりを受け、多大な損失を被り、いまだにその余波が日本社会に暗い影を落としています。

東日本大震災の復旧・復興もまだまだ時間を要します。私たちは東北で起

きた未曾有の災害を風化させてはなりません。そのために東北の皆さまに寄り添い、そして忘れないことが何より大切です。

合併して3年目となる平成25年は、

昭和28年12月15日に本市が市制を施行してからちょうど60周年にあたります。この記念すべき年を、市民の皆さまと共に喜びを分かち合い、かけがえのないふるさと西尾の素晴らしさを再認識する年にしたいと思っています。

また、本年は新市が策定した初の総合計画がスタートする年でもあります。

市政運営の理念である「融和」と「協働」

をさらに深化させ、本市の将来都市像「自然と文化と人々がとけあい 心豊かに暮らせるまち 西尾」の実現に務めてまいります。

今を生きる私たちの最大の使命は、現在よりも安心して暮らせる住みやすい西尾市を次世代へ引き継ぐことです。

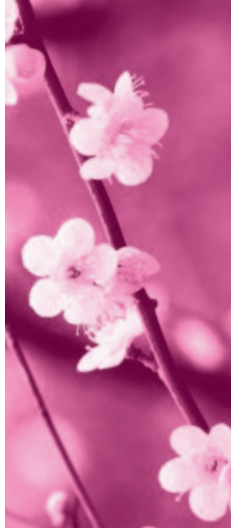
まさに今はその土壌づくりをしている段階でありますので、どうか皆さま方におかれましては、新市のまちづくりに対し、ご理解ご協力を賜りますよう

うお願い申し上げます。

最後に皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。



西尾市長  
榊原康正



## 2013年●新年のあいさつ 明けまして おめでとうございませす



### 西尾市の還暦に思う

明けましておめでとうございます。平成25年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

さて、今年が市制60周年(還暦)の記念すべき年であり、合併3年目を迎える年でもあります。今、国も地方も大きく変わろうとしています。市議会としても山積する課題解決に向けて果敢にチャレンジしなければならぬ一年になるものと考えております。

近年は、グローバル化が進んだ世界情勢からの影響を大きく受け、国内の政治・経済の不安定さや未曾有の自然

災害等で疲弊する地方自治体では、夢や希望が失われているような錯覚に陥ることもあります。市議会としては、本市の将来展望から「新しい時代」にふさわしいまちづくりに向け、市民の皆さまに支えられながら、議員一人ひとりが「利他」の精神で議会活動に取り組んでまいりました。

議員は夢を語り、夢に向かって行動し、市の将来を見据えた「まちづくりプランナー」であるべきで、市政を経営する一人としての自覚を強めなければならぬと考えております。そのた

めにも、Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)のマネジメントサイクルを議会であうまく回さなければなりません。

夢や希望は光です。

明るさは人々の暮らしに安心感を与え、心安らぐ温もりを漂わせ、まちを照らしてくれます。議会人の信条とする「利他」の行いは、「思えば思われる」

の言葉のとおり、投げかけたものは振り子のように必ず返ってくるものです。

今年も決意を新たに、市の発展と市民に夢と希望を与えられるよう議会改

革を推進しながら、さらに精進してまいりますので、格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、市民の皆さまにとつて実り多き年になりますようご祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。



西尾市議会議長  
工藤光雄